

「来年度も飛行船実験を」

JAXA施設課長らと懇談で町長

大 樹

予定だが、伏見町長は「来年度もぜひ実験を行ってほしい。その際には協力を惜しまない」と期待を込めて話していた。
(松村智裕)



伏見町長と懇談する齊藤氏(右から2人目)、岩淵氏(同3人目)らJAXA関係者

公園内の飛行船格納庫など施設の現状を確認したほか、伏見悦夫町長を表敬訪問した。

JAXAは昨年11月まで独立行政法人情報通信研究機構(NICT)など全長88歳の飛行船を使用した高度4千メートルの通信実験などを実施。今回は各施設の疲弊度などを調べる目的で来町した。

今回訪れたのはJAXA A事業推進部の齊藤隆施設課長、岩淵俊雄プログラム推進室調査役兼技術研究協力課長ら5人。伏見町長との懇談では、「施設や飛行船に損傷は

なく、今後問題なく使用できる」と明言。SPFに關する来年度事業計画は今年度末に決まる

【大樹】町多目的航空行試験に携わった独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の施設課長ら関係者が8日、同

公園で昨年行われた「成層圏プラットフォーム」の定点滞空飛行実験に携わった独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の施設課長ら関係者が8日、同